プリンセス 小公女セーラ

第46話

『また逢う日まで』

AR台本

企画
制作　日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第四十六話　『また逢う日まで』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン……………中西妙子
アメリア……………梨羽由記子
ベッキー……………鈴木みえ
アーメンガード……………八百板万紀
ロッティ……………渡辺菜生子
ピーター……………坂本千夏
ラビニア……………山田栄子
ジェシー……………飯塚はるみ
ガートルード……………佐々木るん
モーリー……………向殿あさみ

ジェームス……………郷里大輔

ペネラビ……………

ドルシア……………津島瑞穂

クリステル……………梨羽由紀子

クリスフォード……………仲村秀生

カーマイケル……………屋良有作

ラムダス……………田中秀幸

イライザ……………片岡富枝

パン屋のおばさん……………峰あつ子

アンヌ……………本多知恵子

カメラ	画面		音声
1	学院の裏庭 雪に覆われた庭　スノーマンと 庭に沢山の足跡		
2	庭のスノーマン二基 庭に多数の乱れた足跡 キラキラと輝いてる		
3	箱に入ったクリスマスの飾り こちらもキラキラと美しく 手が次々にinして飾りを持って 行く		一同(off)「ワイワイガヤガヤ」
5	ラビニア　クリスマスツリーの トップスターをつける うまくとりつけて満足そうに微 笑する		ラビニア「フフフ……」
6	脚立の上のラビニア　一同に向 いて云う		ラビニア「ほらァ！みんな、いそがないと間 に合わないわよ!!」

	ラビニアより少し下のジェシーが大声で云う ドルシア　わたしてやる	ジェシー「誰か！　次の星わたしてェ――!!」 ドルシア「ハイ……」
7	アーメンガードが綿の雪を飾っている わきからガートルードの手がヒョイと出て　手にしていた綿のかたまりをうばう	アーメンガード「あ、私の雪、とっちゃ嫌よォ」
8	強引なガートルード	ガートルード「いいのよ、こっちの方が足りないんだから！」
9	ヒイラギの飾りをカベにとりつけようとするロッティの手ＵＰ うまくとりつけられないではずれる	ロッティ(off)「よいしょ……アーッ!!」 Ｓ・Ｅ（バサ……）
10	Ａ・Ｃ ロッティ　かろうじて落とさずにうけとめるが　半ベソをかく アーメンガード入って来て	ロッティ「ああん……うまく、くっつかないよォ……」 アーメンガード「ロッティ!!　……かしてごらんなさい!!」

	ひいらぎを手渡すロッティ	ロッティ「う〜〜ん」
11	ひいらぎをもった手が入って来て壁にくっつける	
12	ロッティも手を出して かんたんにとりつけられる アーメンガードと顔見合わすロッティ その時(off)でドアが開く ドアの方を見る二人	ロッティ「セーラママも、こういうとき、いつも手伝ってくれたんだ」 アーメンガード「ウン……!! いまごろ、どうしてるかしらね、セーラ……」 ロッティ「……」 S・E(off)(カチャ……) 二人「……?」
14	見違える程活発になったアメリアが入ってきて　みんなに向って　部屋の中を見回しつつ大きな声で	アメリア「さあさあ、皆さん。クリスマスの飾りつけは進んでいますかァ? イヴは今夜なんですよォ……!!」
15	一同　元気よく返事する	一同「はあ〜〜い!! アハハハ……」
16	ダンロの前のスツールに力なく	(喧騒こぼし)

	腰を下ろし　じっとしているミンチン　O・L		
17	火が燃えているダンロ　O・L		
18	ほほ杖をつき　虚ろな表情でじっとしているミンチン （照り返しあり）		S・E　（扉のひらく音）
19	ドアをしめて手を下ろし　ダンロの方を見て　大きく吐息をついてから　手前に一、二歩　窺い見るように歩き出すアメリア		
20	ダンロの前にうづくまるミンチン T・Uカット一杯		
21	じっとうなだれるミンチンを見つめながら手前へあゆんで来る アメリア　止る のぞき見て （小さく）あっとなって一寸 我に返るミンチン		アメリア「……お姉さま……」

22	ゆっくりと見上げてゆき 力ない目で見つめて	ミンチン「……あ、あ……アメリア……」
23	アメリア　マユをひそめてはっき りとものを云う	アメリア「困りますわ。クリスマスの支度で、 忙しいと云うのに、いつまでも考え事 ばかりなさっていて……」
24	ミンチン　弱々しく ためいきつきつつ	ミンチン「アメリア……私、なんだか、もう魂 が抜けてしまったような気がして…… この学院の経営も、もう、誰方かにお 願いしようかと……」
25	あきれ顔になるアメリア はげまし　にらむように前にし ゃがむ	アメリア「な……！　なにを仰しゃるのよ……!!」
26	A・C アメリア　ミンチンの前にかが みこみ　はげまし元気づける （ひざは床についているアメリ ア）	アメリア「……そ、そりゃダイヤモンド鉱山の 後継ぎと決ったセーラさんを手離して しまったのは残念ですけどね、まだ、 この学院の経営が 〜 だめになったわけではありませんわ…」
27		

	さっぱり希望のわかないミンチン		ミンチン「……」
28	アメリア　ミンチンのひざに手をかけてはげます		アメリア「さ、元気を出して!」 ミンチン「……」
29	力なく考えこんでいるミンチン 扉の方を見るアメリアと動かないミンチン		S・E(off)(コンコン) アメリア「どうぞ」
30	ドアが開いて　モーリーが顔を出す		S・E　(カチャリ……) モーリー「あのォ……玄関にお隣りの御主人が弁護士さんと……」
31	これにはミンチンもびっくり ドアの方を見る アメリア　いいながら立つ		ミンチン「……!」 アメリア「なんですって」
32	モーリー　もじもじした感じで		モーリー「この学院の事で、お話合いしたい事があるとかで……」
33	ミンチン　ギクッとなり立ち上る		

	アメリア　ふりむく ミンチン　オロオロとアメリアの手をにぎって	ミンチン「アアア……アメリア……ま、まさか……セーラさんの事で、私たちを裁判に……」 アメリア「えッ……?!」
34	ミンチン　オロオロする アメリア　なんとかして平静をたもどうとする	アメリア「……と……とにかく、お逢いしてみなければ、さ、心配しないで」
35	と　いわれても心配なミンチン	ミンチン「……」
36	玄関ホール　アメリアとミンチンがドアに向う ミンチンは途中でこわくなって止まってしまう　アメリア　ドアノブに手をかける	
37	（外）アメリア　ドアを開ける 目パチ	S・E　（カチャリ）
38	二人　帽子をとって	クリスフォード「クリスフォードです……」 カーマイケル「弁護士のカーマイケルです……」

39	アメリア 再び目パチあって 名のると ふと気づく	アメリア「ア……アメリアと申します……まあ セーラさんまで！」
40	カーマイケルとクリスフォード ドアの前からどいて 後にいた セーラを前に出す	アメリア「まあ、まあ、まあ……よく来てくれ たわねェ……」
41	セーラ ニッコリとして	セーラ 「はい、アメリア先生……」
42	クリスフォード 微笑して	クリスフォード「実は、この子からの申し出で 是非お逢いした上で、お伝えしたい事 が起りましてな……」
43	聞くアメリア 怪訝そうにする ミンチンが後から のぞき込む ように来る ミンチン アメリ アの背中にしがみつく様に外を 見る アメリア再び前むいて招 く	アメリア「……?」 ミンチン「……」 アメリア「あ……ど……どうぞ……」
	A・C	
44	ドアを開くアメリア 外のクリ スフォードとカーマイケル	

	45	46	49
ちょっと顔を見合わせてからセーラをうながし　三人そろって中へ進む	ラビニア達がホールの片すみでうかがっていたが　あわてて引っ込む	廊下を歩く一行　アメリアが早足で一歩先へ出る　ミンチンは一歩遅れて歩く　アメリアが先頭に立ってドアをあけつつ中へ入る　カーマイケル　ドアのわきに立つ　アメリア　中からむかえる　クリスフォード　セーラを先に入れる　続いて一同　ミンチン少しはなれて見送っていたが　扉の方へ　手前から窺うように顔を出す三人	子供達　ガヤガヤと出てくる
			S・E（扉のしまる音） ガートルード「すっご〜い!!……見た？ セーラのコート」

		ジェシー「だけど、あの人、一体なにしに乗り込んで来たのかしら……？」
50	ラビニア　自分はなんとも思ってないが　他の子供をおびやかしている	ラビニア「多分、この学院を買い占めに来たのよ、あり余るダイヤモンドで、復讐のためにね」
51	びっくりするジェシーとガートルード	二　人「えええー!!」
52	びっくりしている子供達 PAN←止めなし 顔見合わすロッティとアーメンガード	一　同「ガヤガヤガヤガヤ……」
53	目を丸くして　びっくりするアメリア	アメリア「な、なんですって?!」
54	同　ミンチン	ミンチン「ここ、この学院に……ご寄附を?!」
55	クリスフォード　微笑しながら頷く	クリスフォード「……さよう……」

56	クリスフォード　左手でセーラを示す セーラを見るアメリアとミンチン	クリスフォード「この子の、たっての希望でしてな……」 ミンチン・アメリア「……!」
57	セーラ　こっくりと頷く	セーラ「……」
58	ミンチンとアメリア　顔を見合わす　クリスフォード　カーマイケルに声をかける カーマイケル　心得てうなづく	アメリア・ミンチン「……?!」 クリスフォード「カーマイケル君……」 カーマイケル「はい……」
59	カーマイケル　カバンをテーブルの上におき　中から紙片をとり出して　自分で確認してから ミンチンの前に差し出す	
	A・C	
60	テーブルの上におかれる小切手 ミンチン　まだポケーッとして その小切手をしげしげと見る ギョッと目を見開くミンチンの目　テーブルの上の小切手をバッととって　くいいるように見	ミンチン「……」 カーマイケル(off)「イングランド銀行の小切手で……十万ポンドです」 ミンチン「!! !!――」 ミンチン「!!――」

	る　アメリアも　のぞき込む ミンチン　急に立ちあがる　あまりのショックに卒倒しかかる アメリアが急いでささえる アメリア　どうにかミンチンを座らせる	アメリア「!!――」 ミンチン「……じゅう……」 ミンチン「十万ポンド!!　!　アアア……」 アメリア「お姉様!　ほ、ほら、落着いて……」
63	クリスフォード　微笑して	クリスフォード「お受け取り……頂けるでしょうかな……」
64	アメリア　ミンチンのホッペをピタピタとたたいている アメリア　あわててクリスフォードに向き　いまにもクズれそうな表情で笑い　再びミンチンに向き　顔をむりやり自分の方に向かせてホッペをピタピタやる	S・E（ピタピタピタ……） アメリア「……あ、は、はい……も、もちろんでございますわ、クリスフォード様!! ……ね、お姉様!!　!」 S・E（ピタピタピタ……）
65	ミンチン　言葉にならず　何度もうなづいて見せる	ミンチン「あ、あ……ああ……アメリア……」

66	クリスフォード　ニッコニッコ と笑って		クリスフォード「それはよかった……。所で、 ひとつ、ふたつ、この子からのお願い がありましてな……」
67	アメリア　再びクリスフォード に向き　大きくうなづき ミンチンはアメリアに答える		アメリア「ええ、ええ、なんでも、おっしゃって 下さいましな。ねえ、お姉様！」 ミンチン「そ、その通りよ、アメリア……」
68	セーラ　体を少しミンチン達に 向けて		セーラ　「実は、ベッキーの事なんです」
69	ミンチンとアメリア 不思議そうな表情でセーラを見 る		アメリア「え、ベッキーのこと……？」
70	（間）セーラのベッド エミリーや写真がおいてある ベッキーの手がinして エミリーを取り上げる		
71	エミリーを抱くベッキー		

	左手上腕部ではさむように抱き 直して		ベッキー「さ、エミリーちゃん、セーラお嬢様 の所へお届けしてあげるからね」
72	エプロンをたくしあげて入れも のにする 右手でオカリナ　木馬をエプロ ン袋に入れる 最後に写真を取り　それを見る		
73	額　UP		
74	自分の胸におしあてるようにし て額をとじ　エミリーとともに 少し強く抱く そして　深くためいきをつく （さわやかに）		ベッキー「……」
75	ベッドの前にしばしたたずむ ベッキー　後姿 振り返り扉の方へ歩むベッキー 振り返り　見る		S・E　（鼠の鳴き声）

76	穴より出て来るメル一家 止り　ベッキーの方を見て　後 足立ちになり哀願するメル （親）手前に走り出す		
77	メル　机の脚に昇っていく 後を追うチビ （チビ　イスの背にしがみつく）		
78	椅子に昇り　手を合わせて哀願 するメル チビも昇って来て同じようにす る		
79	にっこりとするベッキー 前に出て		ベッキー「貴方達もさみしいけど、我慢して… …食事は、何とかするわね……」
80	喜び　メルに飛びつくチビ 床の母仔も飛はねる		
81	応接室のドア　前でうかがう三 人と他の子供達		

	ハッとなって　一同 ドタドタと逃げる　手前に逃げ るのもいる		
82	階段のわきへ逃げ込むアーメン ガードやロッティ その他		
83	ドアがあいて　アメリアがいき おいよく出て来る ベッキーを大声で呼ぶ 階段の方へ急ぐアメリア		S・E　（ガチャ） アメリア「ベッキー！……ベッキー！」 （――間――） ベッキー(off)「ハーイ！」
84	おどり場　急にくるベッキー アメリア　おどり場にあがるの ももどかしく　途中で止まって しゃべり出す		ベッキー「……アメリア先生、なんでございましょう?!」 アメリア「ベッキー、驚かないでちょうだい…」
85	アメリア　自分のことのように うれしそうに		アメリア「すっぱらしい運があなたの前に拡がって来たのよ!!」

86	ベッキー　キョトンとして	ベッキー「えッ、運でございますって?!」
87	アメリア　自慢話でもする感じで	アメリア「そうよ。あなたはね、お隣りのクリスフォード様のお邸に引き取られて、ダイヤモンドプリンセスのお傍で、おつかえする事になったのよ！」
88	おどろくベッキー	ベッキー「えッ！　ほ、ほんとでございますか！」
89	応接室から出て来るセーラ ベッキーを見つけて ダッと階段の方へ走るセーラ	セーラ「ベッキー!!」
90	ベッキーも　すぐ見つけて 階段をおりる	ベッキー「お、お嬢様!!」
91	ベッキー　セーラ　ともに階段中ほどで合う ベッキー　すでに泣き声で言葉にならない	セーラ「ベッキー!!」 ベッキー「ああ……お、おじょう……グス……」
92	見る間にうれし涙があふれるべ	ベッキー「お嬢様……グスン、グスン……」

	ッキー	
93	ベッキー　泣きじゃくりつつもセーラのその姿を頭のてっぺんから足の先まで見まわしながら段をおりる	ベッキー「……まあ……お嬢様……ご立派に、おなりになって……」
94	セーラも　今にも泣き出しそうに	セーラ「ベッキー……」
95	ベッキー　泣きじゃくりつつ ますます言葉につまって	ベッキー「……私、ラムダスさんから、お嬢様の、おことづけを頂戴しましたです……こんな私を忘れないで下さったなんて……それだけでも、涙が出る程、うれしかったですのに……」
96	ベッキー　セーラの前にしゃがみ込む セーラ　かがんで ベッキーの肩に手をかける	ベッキー「グスン、グスン……私を……お嬢様のお傍に……!!」 セーラ「……ベッキー」
97	セーラ　うれしそうに	セーラ「嬉しいのは、私も同じよ……私たち、

			また、一緒に暮せる事になったのよ」
98	顔あげて 再びセーラを見て感激するベッキー チョイ間があって あっと気づき　立つ		ベッキー「……お嬢様……! あ、こ、これ……」
	A・C		
99	ベッキー　立ちつつ セーラ　エミリーと写真額を受け取る　他はそのままベッキーのエプロンの中		ベッキー「お嬢様にお届けに上ろうと思っていた所で……」 セーラ「まあ、有難うベッキー……」
100	階段のすき間からのぞいて 顔を見合わせて　ロッティとアーメンガード		二　人「……!」
101	ロッティたちと対照的に顔を見合わすガートルードとジェシー ラビニアは黙って立っている		ガートルード・ジェシー「……?!」 ラビニア「……!」
102	ラビニア　複雑な表情		

103	半分あいていたドアを大きく開くミンチン クリスフォードがステッキついて出て来る クリスフォード　ふりむきつつミンチンに　ミンチン　そそくさと前に出てきてニコニコと答える　カーマイケルも出て来る ミンチンのうって変わったハシャギよう　まず　階段下の子供達に向き	クリスフォード「では、あの子に関して、お願いしたように計らって頂けるのでしょうな？」 ミンチン「ええ、ええ、もちろんでございますとも、クリスフォード様!!　み、な、さァ〜〜ん……」
104	キョトンとなる子供達	子供達　「……?」
105	ニッコニッコと呼びかけるミンチン　ラビニア達の方にも向いて	ミンチン「さァさ、こっちへいらっしゃい！さ、いらっしゃい！」
106	ジェシーとガートルード ちょっと顔見合わせて　手前へ ラビニアは残る	

107	ぞろぞろと集まって来る 愛想よく生徒をながめ廻して かがむようにして話し出すミン チン	子供達　「ガヤガヤ、ヒソヒソ……」 ミンチン「さ、今日は、みなさんがビックリす るようなお知らせが、あるんですよォ」
108	顔　見合わせるロッティとアー メンガード	二　人　「……」
109	ミンチン　階段の方を示して	ミンチン「セーラさんは、このミンチン学院を おやめになったわけではないのです」
110	えっとなるロッティとアーメン ガード （うれしい）	子供達　「……!!」
111	えっとなるガートルードと振り 返るジェシーとガートルード	二　人　「……?!」
112	表情がこわばる ラビニア	ラビニア「!!」

113	セーラとベッキー その後ろにアメリア　T・U	ミンチン(off)「その証拠に、セーラさんは、以前 通り、皆さんと一緒に、 〜 (off)この学院で、お勉強を続けたいと、申 し出になられたのですよ」
114	セーラとベッキー　手前にナメ フカンぎみに階下のミンチンた ちと子供達 喜ぶ子供達	子供達　「えーッ、本当?!」
115	一同　大いに喜ぶ とびはねる子もいる	一　同　「ワイワイ……ガヤガヤガヤ……」
116	複雑な心境のラビニア	ラビニア「……!!」
117	ミンチン　あいかわらずニコニ コと身ぶり手ぶり楽し気に	ミンチン「ただし……」 子供達　「ガヤガヤ……（静まる）」 ミンチン「いーですか、セーラさんは、この学 院に寄宿するわけではありません。こ ちらにいらっしゃる」
118	クリスフォードもニコニコ	ミンチン(off)「お隣りのクリスフォード様のお邸 から、通われる事になります」

119	ミンチン　再び子供達の前にかがんで ニコニコと伝える 子供達　ワッと歓声をあげて セーラの方へおしよせる ガートルードとジェシーは　その場にとどまる		ミンチン「その点、みなさんもよろしくね」 子供達「ウワ〜〜イ、ワー、ワー」
120	階段を登って来た一同 セーラのまわりをとりかこむ ロッティがセーラにしがみつく セーラ　向く		一　同「ワ——イ」 ロッティ「また、セーラママと一緒に、お勉強出来るんだーい!!」 アーメンガード「セーラ!!」
121	アーメンガード　涙ぐみながら		アーメンガード「私、あなたの事が、心配で、心配で……よかった……」
122	セーラ　コックリとうなづいて		セーラ「……ありがとう、アーメンガード…」
123	セーラ　ロッティに向いて		セーラ「……ありがとう、ロッティ……それから、ありがとう、みなさん……」

	明るく喜び合う子供達	子供たち「ワ〜〜イ……ワーイ……」
124	ニコニコするカーマイケル ミンチン　クリスフォード	
125	ガートルードとジェシーも ラビニアも見て 手前に走り 気まずそうに　ラビニアの方に 向く	ガートルード「……」 ジェシー「……」 ガートルード「……ね、ラビニア……セーラの 所へ行きましょうよ……」
126	ムスッとしているラビニア	ラビニア「……」
127	もじもじする二人	ジェシー「ね、行かないなら……行っちゃうわ よ……」
128	ラビニア　無言	ラビニア「……」
129	二人　顔見合わせて コクンとうなづき合う そして　パッとセーラの方へ	二　人「……」

	走るガートルードとジェシー 最後尾につめよって ピョンピョンとびはねる		ジェシー「セーラ、よかったわね！」 ガートルード「また一緒に遊べるわね！」
130	集りに入っている二人 再びセーラの方に向いてはねる 二人 手をあげて　はしゃぐ		子供達「アハハ……ワ――」
131	セーラ　ニッコリと うなづく		セーラ「……」
132	喜ぶ二人 手をたたく 二人　手をとり合ってとびはねる		ガートルード・ジェシー「ワ〜〜イ」
133	騒ぐ生徒達 じっと見つめるラビニア		
134	ラビニア　右手のこぶしを胸まであげて　握りしめる		

135	136	137	139	140	141
子供達にかこまれて　幸せそう なセーラ　T・U （カット一杯）	（スタート　目あいてます） （間） 目をかたくとじる	少しうつむいて　くちびるをか む　上目づかいにセーラを見る 握りしめたこぶしを口元へ持っ ていって チョイ間 ふるえが止まる	パッと目を開く 大UP	腕を下げ　顔を正面にもどし つかつかと歩き出す ラビニア	セーラ

	おやっとなって　気づく	
142	ラビニア　一同の前で止まる 子供達　ふりむく	
143	ラビニア セーラを見すえる	ラビニア「……」
144	セーラの前の子供達 さささと道をあける	一　同「ザワザワザワ……」
145	ラビニア 少し目線を下にはずして 間をとってから	ラビニア「……」
146	セーラ 目パチ	
147	おもむろに　顔をあげると… ニコッと笑って	ラビニア「おめでとう、セーラ……」

148	セーラ　一気にうれしそうな表情になる		セーラ「……！　あ、ありがとう、ラビニア……」
149	ラビニア　テレかくしのつもりか　後手に組んで　わざとらしくつんとしてみせる　セリフ云って手前へ		ラビニア「私……あなたさえよければ、仲良しになってあげてもよくってよ……」
150A	ミンチン　大げさに感動する		ミンチン「ラ、ラビニアさん!!」
150B	ラビニア　階段を登って来る　セーラも感激して　少し階段をおりる		セーラ「……私……本当云うと……～この学院に来た時から……」
150C	優しく微笑を返すセーラ ラスト　右手を差し出す A・C		セーラ「あなたと仲良しになりたいと思って来たのよ」
150D	握手を求めるセーラの手		
150E	ラビニアも微笑を浮べる		ラビニア「……」

150F	チョイ間あって そして握手する　少し ラスト（間）		
150G	アメリア　両手をパチンと合わ せて		アメリア「さあさあ、皆さん、クリスマスのお 祝いは、セーラさんとご一緒にする事 になりましてよォ！」
150H			一同「ウワ〜〜!! ワ〜〜イ、ワ〜〜イ」
150I	握手するセーラ ニッコリ		S・E（パチパチパチ）
150J	喜ぶベッキー その手には馬とオカリナと本		〜〜〜
150K	手をたたくカーマイケル ミンチン　クリスフォード		〜〜〜 S・E（パチパチパチ……）
151L	拍手と歓声が　いつまでも鳴り やまない		S・E（ワ〜〜ワ〜〜、パチパチパチ……）

151	雪の積った枝に止まり、遊ぶ水鳥たち　光る雪（トーカ光）鳥が飛び立つ　ゆれた枝から光って落ちる雪		M「クリスマスキャロルの唄声」
152	学院の庭の木に積った雪の上に落下する雪　雪煙りが上がるキラキラと光る		
153	庭のスノーマン、リンゴの鼻にミカン（オレンジ）の目、帽子もマフラーもしている　陽にキラキラと光っている沢山の足跡を注意のこと		
154	学院の扉口に遊ぶ小鳥、餌をついばんでいる　窓の方へ飛んでいく小鳥		
155	小鳥が飛んで来て、窓から内をのぞき見る　外にはスノーマン小鳥たち、ちゅんちゅんと内を見たり顔を見合せたりしている		（音楽スタート）〜

156	クリスマスツリーが飾られた遊戯で唄を、ミンチンの指揮で歌っている生徒達			
157	ごきげんになって指揮をするミンチンと生徒			
158	唄うセーラ達、セーラとロッティ、顔を見合せて微笑み合う			
159	クリスマスツリー　キラキラと輝いている飾りもの			
160	唄う生徒達			
161	オルガンを弾くアメリア振り返り微笑している			
162	ダンロの上のキリスト降誕の画（名画であってほしい）			
163	唄う一同を指揮しているミンチン唄、終章近い			

164	微笑しているクリスフォード		←〜〜〜〜 歌終り
165	元気に唄い終る子供たち		
166	ミンチン、指揮の手を大きく拡げて終る　満足そうに一同を見回してにこやかに拍手する 生徒達にごきげんに顔を見合せたりして、拍手して歓声を上げる　クリスフォードも拍手している		歌終り
167	拍手しているクリスフォードに軽い会釈をするミンチン アメリア、立ち上がり拍手する 一同、扉の方見る		S・E　（扉のひく音）
168	扉が開いて――振り返り見るラビニアたち、あっとなる サンタクロース姿だが、首から上はフダン通りのジェームス、モーリーが入ってくる　照れくさそうにうつ向きぎみに入って		

No.	画面	台詞
	くる わっと二人をとりかこむ生徒達 二人具合悪そうに、顔を覆ったり、頭をかいたりする	声「わ……い……可愛い！」 「モーリさん似合うわ……」 「私きてみたいい」etc
169	苦笑して前に出るミンチン おかしさをこらえるアメリア	ミンチン「……まあ……どうしたんです…… off ……そんな半ばな恰好で……」←
170	左右にひらく生徒達　前に出る 二人、照れるように サンタクロースの洋服を拡げて見せる　二人……苦笑しながら 生徒達も笑っている	ジェームス「へ……へぇへッへへ……」
171	おかしさをこらえているミンチン	ジェームス「……院長先生……それより……実は……お隣りから大変なものが届いちまって……」
172	相鎚をうつようにうなづくモーリー	モーリー「……とに角、ここへ運んで貰うように云ったんですがね」
173	怪訝な面持ちでアメリアを見てクリスフォードの方を見る	

174	にこにこしているクリスフォード　扉の方を見るクリスフォード		(off) 「ワーッ!!!」 「すごいわ!!」
175	入ってくる巨大なケーキ、二人の老若の従僕が支えもっている 左右に分かれる子供たち		
176	子供たちの前を通っていくケーキ 見送る喜びの顔　顔を見合ったりして喜び合う		声 「ワ——ッ!! 大きい!!」 「初めて見たわ」 「素晴しいわ……」
177	テーブルの上にケーキをのせる若い従僕 out ケーキを見て驚き、茫然と見つめるミンチンとアメリア		
178	従僕二人、インド流のおじぎをする		
179	ポカンとしているが、あわてて		

	スカートをつまんでおじぎをする子供たち、——ばらばらに（顔を見合せたり囁き合ったりの後で）		
180	177兼用　書き足し　アメリア、ミンチンの顔を見る　ミンチンうなづきクリスフォードの方を見る　微笑しているクリスフォード		アメリア「……お姉様!!」
181	クリスフォード、セーラの方を見てる　セーラ、振り返り微笑している　セーラ、おじぎをする（スカートをつまんだ）		クリスフォード「この子からの……クリスマスの贈り物でしてな……」
182	軽く会釈をするミンチンとアメリア		ミンチン「まあ……セーラさん……!」
183	おじぎから起き上がり、にっこりするセーラにしがみつくロッティ　後の従僕二人でていく　アーメンガード、にっこりとして		ロッティ「セーラママ!!　……ありがとう!!」 アーメンガード「セーラ……!!」

	セーラ、アーメンガードを見て微笑で答える　一同の後をケーキに集る生徒達		off 「わーい……!!」
184	ケーキを見つめる生徒達を、微笑し乍ら見るクリスフォード （後ろから入ってくるものもいる）　顔を見合したり笑い合ったり		「……アドリブ」
185	155兼用　窓外で内部を見つめている小鳥たち		
186	窓外の小鳥、囁き合っている ケーキを見つめる生徒達の後をラムダス入ってくる		
187	ラムダス、アメリア、ミンチンにインド風のオジギをする 軽く会釈をする二人（一寸あわてて） ラムダス、手前に来てクリスフォードの耳打ちするように小声		

	で囁く　にっこりとしてうなづく　クリスフォード——セーラの方を見て	クリスフォード「セーラ……！」
188	ケーキを見ていたセーラとベッツキー、クリスフォードの方を見る　ベッツキーも……やさしく微笑みながら	セーラ　「はい小父様!!」 クリスフォード「……君へのクリスマスプレゼントが届いたようだ……表へ行ってごらん」
189	喜びの顔	セーラ　「……まあ!!!」
190	188兼用書き足し　ロッティ、セーラにしがみつきうなづき、にこにことするセーラ　にっこととして大きくうなづくロッティ　クリスフォード、にこにこと見ている	ロッティ「……ね……ね、セーラママ……私も見に行っていい？」 セーラ　「ええ……勿論よ、さ、行きましょう」 ロッティ「うん……!!」
191	玄関　雪がキラキラと光っている（トーカ光）扉開いてセーラ、ロッティを先	

	頭に出てくる生徒達、前を見て止まる		
192	驚きの表情から喜び一杯の表情に変るセーラ		セーラ「……！ まあ——!!」
193	停っているポニーの馬車 首をなでているピーターが振り返る傍にコート姿のカーマイケルが立っている		
194	192兼用書き足し 手前に髪をなびかせて走る		セーラ「ジャーンプ!!」
195	喜びいなくジャンプ		
196	髪をなびかせて走るセーラ FOLLOW 手摺の雪がキラキラと光っている（トーカ光）		
197	走り寄りジャンプして抱きつき撫でるセーラ		セーラ「ジャンプ……ジャーブ……！ ……うれしい……！ 又、逢えてよかった……!!」

	喜びいななくジャンプ		ジャンプ「ブヒーブヒ……ン」
198	にこにことしている子供たちの後に来るラムダスに支えられたクリスフォード、生徒の後で止まり、顔を見合せて微笑み合う		
199	撫でているセーラ　甘えているジャンプ ※セーラ、ピーターと顔を見せる、にっこりとする はっとなってピーターを見るセーラ		ボナパルト(off)「セーラ……セーラ……!!」 ボナパルト(off)「セーラ!!　セーラ!!」 ←〜〜〜
200	馬車の方を見るセーラ…… アッとなる		
201	座席で鳥篭に入ったオウムが呼んでいる 急いで来るセーラ、のぞき見る		ボナパルト「セーラ……セーラ!!!」 セーラ　「まあ…… 〜
202	セーラの方へ近づくボナパルト にっこりとするセーラ		ボナパルトまで……!」 ボナパルト「セーラ!　セーラ!」

203	ラムダスに支えられ、杖をついて、セーラに近づくクリスフォード……にこにことしている 振り返り見るセーラ 後を見るクリスフォード		セーラ「……小父さま……一体どうやって！」 クリスフォード「ピーター君から以前のことを聞いてな……カーマイケル君が 〜 探し出して来てくれたのだよ……」
204	振り返り後を見るセーラ セーラ、ピーターに近づく		セーラ「ありがとう御座いますカーマイケルさん」
205	にっことしてピーターを見るセーラ　手をとり包むようにして照れるピーター 赤くなって横を向いてしまうピーター　微笑して見つめるセーラ		セーラ「ピーター、有りがとう……！　良く気づいてくれたわね……！」 ピーター「え……いや……その……お嬢さんの為なら……」
206	微笑し合う大人たち 増々赤くなるピーター		
207	兼用書き足し　アーメンガードを見上げて笑うロッティ、アー		

	メンガードも微する一同見つめて笑っている	
208	照れて赤くなっているピーターを明るい微笑で見つめるセーラ ——間—— ぱっと笑顔に戻るピーター、大きくうなづき にっこりするセーラ	セーラ「ねえ……ピーター、久しぶり、馬車に乗せてくれない……?!」 ピーター「え?! ええ、お嬢様!!」
209	雪をはね上げて回る車輪 FOLLOW	
210	街の中を走る　ピーターがムチを振る　ポニーの馬車が走る	
211	御者台でムチを振るピーター、振り返りにっこりする FOLLOW	
212	馬車の上のセーラ、にっこりする　クリスフォードとセーラ、顔を見合せて微笑する	

	FOLLOW		
213	街の中を行くポニー馬車、ダブルデッカーを抜くようにしていく		
214	ムチを振るピーター FOLLOW		
215	窓外を見て驚く女性		
216	ダブルデッカーを抜いていく		
217	ダブルデッカーを抜いていくピーターの馬車		
218	ダブルデッカーの前部の窓前を見、微笑している 抜いてピーターの馬車 FOLLOW		
219	顔を見合せて微笑する二人 FOLLOW		
220	キラキラと揮く雪を冠った屋根		

	FOLLOW		
221	馬車上のセーラ、はっとなり、身をのり出すようにして FOLLOW 手綱を引いて馬車を止めるピーター　FOLLOW　止まる		セーラ「ピーターおねがいー！　馬車を止めて……！」
222	じっと前方を見つめるセーラ		
223	パン屋が見える　行く交う人々		
224	キョトンとしてセーラを見るピーターとクリスフォード セーラ、クリスフォードの方を見て 二人（クリスフォードとピーター）パン屋の方を見る		クリスフォード「どうしたんだね……セーラ」 セーラ「このパン屋さんのオバさんなんです……私がひどくおなかがすいていた時、助けて下さったのは……」 クリスフォード「ホホウー！」
225	パン屋の店先を行き交う人々、 見つめる馬車上の三人		

226	セーラの方を見るクリスフォード　頷くクリスフォード		セーラ「……私……あのときのお礼を……」
227	店内に並ぶパン　ガラス窓を通して、クリスフォードと微笑しながらくるセーラが見える in―out　――間――		
228	扉が開きベルの玉が動く		S・E　(ベルの音)
229	パン屋のおばさん、商品を棚にのせている　振り返る アッと驚くおばさん		おばさん「いらっしゃいま……」
230	扉をしめて振り返るセーラ 帽子をもち上げて軽く会釈をする　つづいてセーラ 注、おばさんも会釈する		
231	おばさん、カウンターに身を寄せてのり出すようにして驚いている　頭を上げるセーラ		おばさん「……あ……あんたは……あの時の…」

232	にっこりとするセーラ	セーラ「……まあー……! 私を憶えていて下さったんですか……」
233	にこにこしながら手前に来るおばさん しげしげとセーラを眺めて	おばさん「ええ……ええ……忘れるもんじゃありませんとも……けどまアー立派におなりなって……」
234	セーラ、クリスフォードを見上げて微笑する ?!となっておばさんを見つめる セーラ、振り返り叫ぶおばさん 怪訝そうにおばさんを見るセーラ	おばさん「……そうそう……あなたにお引き合せする子がいるんですよ…… 〜 アンヌ……アンヌ……!!」 アンヌoff「……はあい……! ただいま!!!!」
235	扉ひらいて小女アンヌ、出てくる	
236	見つめるセーラ	
237	扉をしめて前に出るアンヌ	
238	じっと見つめるセーラ、はっと	

	なり、驚き急いで前に出ながら	セーラ「……あ……！ あなたは……」
239	見つめていたアンヌ、驚きの声を上げる　こっくりとうなづく セーラ　T・U（尻一杯に）	アンヌ「……あんたさまは……」
240	貧しい少女二人にパンを分ち与えるセーラ	
241	T・B　じっと見つめるセーラ	
242	はずかしそうにセーラを見つめるアンヌ、笑顔を見せて	アンヌ「……あれから私、この店に引取られて、……動かせて頂いてるんです」
243	にっこりとして前に出るセーラ 手を出してアンヌの手を握りしめて	セーラ「ほんとによかったわね……」
244	大きくうなづき微笑えむアンヌ	
245	手を握り合う二人を見つめる大人二人 セーラ、手、離してアンヌと並	

	び、おばさんの方を向く		
246	おばさんを見つめるセーラとアンヌ		セーラ「ほんとにあの時は、私たちを助けて下さって有難うございました、私、そのお礼に……」
247	あわてるおばさん		おばさん「と……とんでもない!! ……この子を助けたのはお嬢さんですよ……だって、五つのパンを四つまでこの子にあげてしまうなんて……私もう胸が一杯になってねェ……」
248	淋しそうな表情になってくうつむいていく		セーラ「まあ……でも困ったわ……、どうやってあの時のお礼を……」
249	心配げにセーラを見るアンヌおばさんとクリスフォードもセーラを見ている		
250	うつむいているセーラ心細げに顔を上げる		
251	微笑して一歩二歩と前、出るクリスフォード		

	やさしくセーラの肩に手をおき	クリスフォード「こうお願いしては、どうかな……セーラ……」
252	クリスフォードを見上げるセーラ	
253	二人を見ながら	クリスフォード「つまり、これから先、以前の君達のように、おなかをすかして困っている子供たちを見つけたら、十分にその子達にパンを食べさせて頂く……」
254	柔和な表情のクリスフォード	クリスフォード「勿論、その費用は、この私が払わせて頂くのだか……」
255	セーラとアンヌ、ぱっと明るい笑顔になる　セーラ、ぱっとクリスフォードに抱きつく	セーラ「わァ……!!　素晴らしいわ……小父様……!!」
256	253兼用　肩をやさしく抱くクリスフォード、にこにこしている	おばさん「だ、旦那様!!　それじゃうちで売るパンが毎日売り切れになってしまいますよ……」
257	おばさんの方を見るクリスフォ	クリスフォード「勿論、それで結構……!」

	ード　にっこりする		
258	驚きあきれ顔のおばさん		おばさん「んまあ……?!」
259	おばさんの方を見る二人、顔を見合せて笑い合う		二　人「フフフフフ」
260	二人も顔を見合せて笑い出す		
261	楽しそうに笑う四人　窓外には通行人が見える		
263	帆をたたんだ船が碇泊しているロンドン港		セーラⓃ「クリスマスから間もなく、私はクリスフォード小父様とインドに旅立つ事になりました、……それは、小父様の遺産を正式に引継ぐ為にと……お母様と眠っているお父様のお墓にお参りする為でした……」
264	マストに明るい陽光がさす		off「アハハ……」
265	煙を吐いている船　セーラを中にしてにぎやかにしている生徒達　ポニーの馬車も見える		「生徒達、元気な声」←〜〜

266	にぎやかに談笑しているセーラ 囲んだ生徒達　ロッティ、セー ラの前に進んで見上げて	ロッティ「ね……セーラママ……インドへ行っ てもう帰って来ないの?!」
267	セーラにしがみついて、見上げ ているロッティ、やさしくロッ ティ、肩に手をかけるセーラ 顔を見合して喜び合う生徒達 アーメンガード、進み出て にっこりとしてうなづくセーラ	セーラ「帰って来るわ、四ケ月程したらきっ とまた逢えるわ……」 生徒達「よかった……、又逢えるのね… 等々の声声」 アーメンガード「……よかった、またフランス 語、教えて貰えるのね……」
268	グンと前に出るガートルード	ガートルード「でもその頃は、ラビニアはいな くてよ」
269	はっとなる	セーラ「え――?!」
270	ラビニア、にやりとする	
271	一斉にラビニアを見る一同 前に出てくるセーラ ジェシィがセーラの傍に近づい て来る　セーラ、ジェシィを見	セーラ「……どうしてなの、ラビニア……」 ジェシィ「……ラビニアはね……アメリカへ帰 っちゃうんですって……」

カット	内容		セリフ
	る　セーラ、驚きラビニアを見る		
272	一同も驚き、ラビニアの方を見る		
273	ラビニアを見つめるセーラ、微笑して顔だけセーラに向いて 真剣な顔で前に回るセーラ 冷たい笑いでセーラを見つめる ?!となった表情で見るセーラ		ラビニア「残念だけど、あなたとはもう二度と逢えなくなるわね……」 セーラ「いいえ、そんな事はないわ、いつかきっと逢えるわ……」 ラビニア「フフフ…… 〜〜 フフ……、きっと何十年も経って、あなたがダイヤモンドプリンセスから、ダイヤモンドクイーンになった頃にね
274	きざっぽく横を向き、宙を見つめるラビニア		……
A・C			〜〜
275	精一杯の意地をはるラビニア セーラの方を見てニヤリとする セーラも微笑して答える 一寸見つめ合う二人　同時に笑い出す二人		……その頃はきっと私、アメリカ大統領夫人になっていると思うけど……」 セーラ「……まあ……」 二人「フフフ……」

276	277	278	279
笑い合う二人を見つめる一同 声の方を見るセーラ　一同もつ られて見る	走って来るイライザおばさん、 止まり ひざに手をあて、大きく肩で息 をつく　ピーターに気付き、ピ ーター、帽子を上げ会釈をする が渋面を作る トコトコ走ってくるアーメンガ ードとセーラ セーラ、会釈する　にっこりと するイライザ バックの中から小さな薬瓶の包 みをセーラに差し出す	差し出された包みを受とるセー ラ セーラ、傍のアーメンガードと 顔を見合せてニッコリする	初めは薄く昇っているが、モウ
イライザ(off)「……セーラさ——ん……!!」	イライザ「ハアハア…… アーラ……ペーター」 アーメンガード「イライザ小母さん!!」 イライザ「セーラさん！……あなたがインド へ立つと聞いて、船酔いよ薬を作って 来たのよ……」	セーラ「……有りがとう、おばさん……」	S・E（ドラの音） 〜

	モウと上がる煙
280	船べりで手を振る客 タラップを昇ってくるクリスフォード　傍に犬も一緒にセーラつづいていく
281	タラップを昇り切り、後を振り返る.クリスフォード　セーラの後に小さなケースを下げたベッキーが続く
282	昇るセーラとベッキー 昇ってくるベッキーを迎えてベッキーの帽子を直すセーラ 照れたように笑うベッキー
283	タラップの前で手を上げている弁護士一家
284	船上で手を振る一同 ラムダスの肩の上で手を振る猿

285	見送る人々と甲板で手を振る人々・タラップが上げられていく	
286	手を振る子供たちとアメリア、じっと見上げているだけで、手を振らないミンチン う?!となってミンチンを見るアメリア ミンチンに手を振ることをうながす	
287	ミンチン、アメリアを見る　再度うながす 不承不承、お義理に手を振るミンチン、苦笑して船に向って手を振るアメリア	
288	イライザおばさんに抱かれ、手を振るロッティ　傍で手を振るアーメンガード	
289	手を振るラビニア達 ラビニア以外は明るく	

No.	内容		台詞・音響
290	エミリーを抱き手を振るセーラ T・U 目に涙が溢れてくる		
291	花屋のおばさん達の馬車上で手を振るピーター		ピーター「お嬢さーん、早く帰って来て下さいよオ……!!」
292	284兼用書き足し 但しセーラは目に一杯の涙をうかべて何度も頷く 激しく手を振るセーラ、ベッキー		S・E （ボウッ――!!）
293	279兼用書き足し 白い蒸気が吹く 黒い煙がもくもくと―― 船、動き始める（BG引き）		S・E （気笛、ボ――ボ――）
294	じっと見つめるセーラ（下） FOLLOW 目に一杯の涙 T・U O・L		
295	洋服屋 O・L		
296	マリエット O・L		

		O・L
297	病気	
		O・L
298	マッチウリの少女	
		O・L
299	デュファルジュ先生　泪	
		O・L
300	魔法使い	
		O・L
301	火事	
		O・L
302	衛兵	
303	明るい笑い顔で甲板に立っているセーラ　T・B そっと手で泪を拭く	
		O・L
304	ロンドンのフレカン　T・B 水キラキラトーカ光　大版	

〈おわり〉